



# ひびき

◆ゆたかなかわりを求めて  
夢や希望をもち  
未来をひらく子ども

## 1学期始業式（4/7）講話より

校長 渡邊 芳久

全校のみなさん、おはようございます。新型コロナウイルス感染予防のため、今日の始業式では、6年生は体育館で、他の学年はリモートで参加してもらいます。

さて、今日から一ノ木戸小学校令和4年度の1学期がスタートします。今年度の一ノ木戸小学校のスローガン、合言葉は「かがやかせ合う」です。昨年度のスローガンは「かがやき合う」でしたが、一ノ木戸小学校の皆さんは、一人一人がかがやき、かがやき合うことができるようになってきたからです。

では、「かがやかせ合う」にはどうしたらよいでしょう？

それはとても簡単なことです。全校の皆さん一人一人が、自分や友達**の存在自体を認め、大切にすること。自分と友達のよいところを見つけ、お互いのよさを言葉や態度で認め合い、励まし合うこと。**そうすることで「かがやかせ合う」一ノ木戸小学校となっていきます。「〇〇さん、いつも元気なあいさつだね。すごいね。ぼくも頑張ってみるよ」とか「学級代表に立候補するなんて勇氣があるね。一緒に〇年〇組を明るい学級にしていこうね。」とか、毎日の生活の中の「消しゴム貸してくれてありがとう」や「昼休み一緒に遊ぼう！」などの言葉がけも、お互いの存在を認め大切にしている言葉です。

「かがやかせ合う」ということは、自分一人だけではできません。誰かが誰かをかがやかせ、その誰かがまた誰かをかがやかせなければ「かがやかせ合う」とは言えないのです。私は、618名の全校のみなさんと先生方が互いに「かがやかせ合う」姿を見たいと期待しています。「かがやかせ合う」一ノ木戸小学校をめざし、頑張っていきたいと思います！

次に、新型コロナウイルス感染症のお話です。みなさんも、ニュースやお家の人の話などから知っている通り、三条市でも、新潟県でも、そして日本全国でもまだまだ新型コロナウイルス感染症はおさまっていません。ですから、これからはしばらくの間は、今までと同じような対策を取り続ける必要があります。まずは、できるだけ自分が感染しないような行動をすることが何よりも大切です。そして、自分は元気だけれど、もしかして感染しているかもしれないと考え、他の人にうつさないような行動をすることも大切なことです。皆さん自身の命はもちろん、皆さんの家族や大切な人の命を守るため、マスクをつける、窓を開け換気をする、手洗いをする、給食は前を向いて食べるなどはしっかりと守りましょう。くわしくは、担任の先生の指示に従いましょう。

そして、もしも不安を感じるなどがあったら、そんなときは、ぜひ、声に出してください。家族や先生方、友達に相談してみてください。みんなで一緒に頑張っていきたいと思います。（略）